

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年10月5日（月）～平成27年10月11日（日）【第41週】の感染症発生状況

第41週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.45人と前週（3.82人）からやや増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.97人と前週（2.36人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は2.12人と前週（3.12人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## RSウイルス感染症にご注意ください！

第41週におけるRSウイルス感染症の患者報告数が定点当たり1.27人となり、例年と比べて大きく増加しています。

RSウイルス感染症は、例年12月下旬に流行のピークをむかえます。今後も患者数はさらに増加すると推測されます。



### RSウイルス感染症の特徴は？

**感染経路：**咳や鼻水による飛沫・接触感染

**潜伏期間：**2～8日間（平均4～6日間）

**好発年齢：**生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児が感染を経験

**症状：**発熱、鼻水、咳などの風邪様症状が数日続く程度で多くは軽症。ただし、患者の2～3割は咳が悪化し、肺炎などの下気道炎を起こし、呼吸困難などの症状が出る。

### ～こんなお子さんは特に注意～

早産児、心疾患、肺疾患、免疫不全、ダウン症などは、重症化のリスクを高める原因となります。

リスクの高い乳幼児には感染を予防する方法もありますので、医療機関で御相談ください。

### 川崎市のRSウイルス感染症発生状況



### 平成27年 川崎市のRSウイルス感染症年齢階級別発生状況（10月11日診断分まで）

